

平成27年度 若手の理学療法士及び作業療法士実務研修 実施状況について

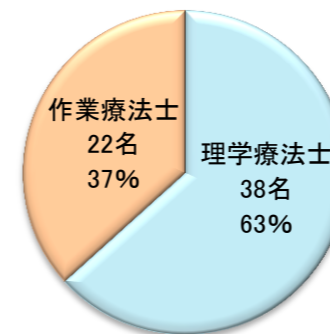
| | | |
|------|--------|---|
| 研修概要 | 1 対象者 | 都内の医療機関等に従事し、実務経験が原則1年目から5年目までの理学療法士及び作業療法士 |
| | 2 実施施設 | ① 初台リハビリテーション病院 <区西南部> ② 東京都リハビリテーション病院 <区東部> ③ 村山医療センター <北多摩西部> |
| | 3 受入定員 | 合計 32名 (① 初台リハビリテーション病院 12名、② 東京都リハビリテーション病院 8名、③ 村山医療センター 12名) |
| | 4 募集期間 | 平成27年9月14日(月)～10月30日(金) |
| | 5 研修期間 | 平成27年10月1日(木)～平成28年3月31日(木)までの間、受講生1名当たり原則10日間 |
| | 6 研修開始 | ① 村山医療センター <11月9日(月)～> ② 初台リハビリテーション病院 <11月30日(月)～> ③ 東京都リハビリテーション病院 <1月4日(月)～> |

研修プログラムの概要

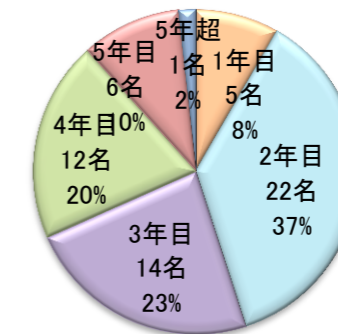
| | 初台リハビリテーション病院 | 東京都リハビリテーション病院 | 村山医療センター |
|-----|---|--|--|
| テーマ | 「輝生会(回復期～生活期)におけるチームアプローチの体感と基礎的知識・技術の確認」 | ○理学療法科 回復期脳卒中片麻痺患者のリハビリテーション ○作業療法科 当院におけるリハビリテーションの評価とアプローチ ○地域リハビリテーション科 維持期のリハビリテーションの実際 | 村山医療センターが有する各病棟における最新のリハビリテーション技術等の実践 |
| 目標 | ①チームアプローチの体感と多職種理解 ②患者・家族の「生活」を見る目を養う ③リハビリテーションに必要な基礎的知識、技術の確認 ④ケアの重要性を知る | ○理学療法科・作業療法科 講義、見学、実技、事例検討などを通じて、リハビリテーションの専門的知識、技術習得を図る。 ○地域リハビリテーション科 訪問リハビリテーションを通じて維持期のリハビリテーションについての理解を深める。 | ①回復期リハビリテーション病棟、 ②地域包括ケア病棟、 ③脊髄損傷専門病棟、 ④整形外科病棟の各領域での臨床を理解するとともに、それらに必要な臨床技術、知識の確認 |
| 内容 | ①回復期病棟に所属し、チーム一員となって研修することで入院から退院までの取組に触れる ②生活期の見学(外来・通所・訪問、生活期施設)を通じて生活期の取組に触れる ③経験年数が近いスタッフのケースを疑似的に担当し、リプランや目標等について一緒に考える。 | ○理学療法科 回復期病棟におけるリハの流れ、脳卒中片麻痺患者のリハの基礎知識等 ○作業療法科 上肢機能訓練、ADL訓練、評価と実践、スプリント作製等 ○地域リハビリテーション科 訪問リハ見学、社会資源見学、研修会・勉強会・事例検討会参加等 | ①回復期リハビリテーション病棟、 ②地域包括ケア病棟、 ③脊髄損傷専門病棟、 ④整形外科病棟の各領域での臨床を経験する。 |
| 体制 | ①11月30日(月)～12月11日(金)6名 ②1月25日(月)～2月5日(金)6名 | ○理学療法科、作業療法科 1月25日(月)～2月5日(金)各3名 ○地域リハビリテーション科 1月4日(月)～27日(水)2名 | ①11月9日(月)～11月20日(金)3名 ②11月30日(月)～12月11日(金)3名 ③1月18日(月)～1月29日(金)6名 |

応募状況 (受入定員 32名 ⇒ 応募 60名)

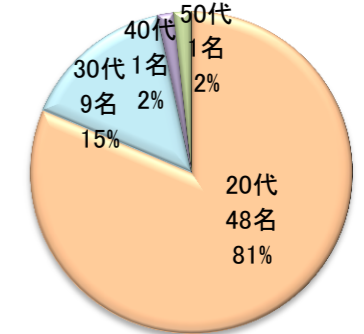
(1) 理学療法士・作業療法士の内訳



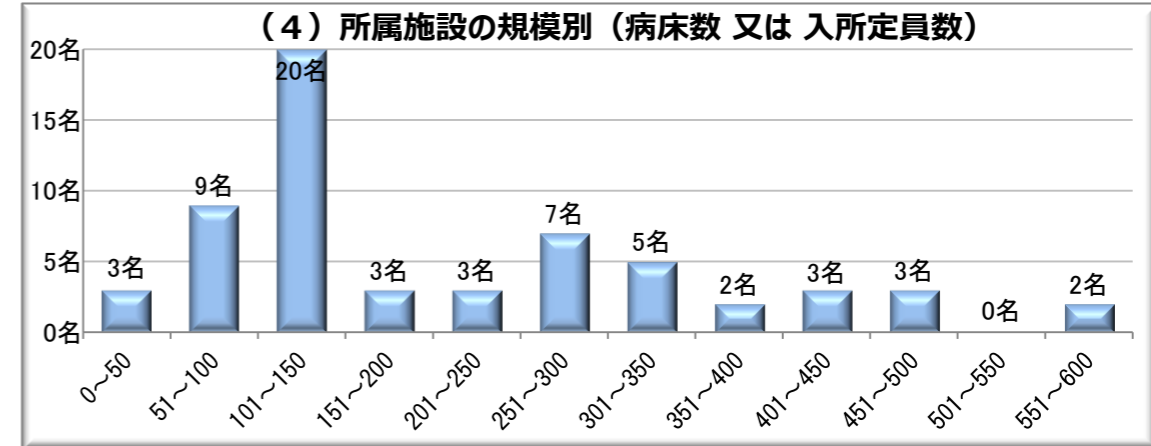
(2) 職務歴の内訳



(3) 年齢の内訳



(4) 所属施設の規模別 (病床数 又は 入所定員数)



(5) 所属施設の所在地別 (区市町村別)

